

GXに関するマクロ経済的視点

伊藤元重

- ・ 鍵となるのは「スピード」と「規模」
 - 緊急対応を求められるエネルギーの安定供給
 - 脱炭素は壮大な規模の経済・社会の変化を求める
 - 規模とスピードを確保できなければ失敗となる
- ・ 政府による財政的関与の必要性
 - 政府の大規模支出なしには難しいインフラ整備
 - 公的債務の増大や財政赤字の拡大なしで財政支出拡大は可能なのか
 - ポリシーミックスの方向
 - インフレと景気後退への対応
 - 金融緩和・財政抑制 → 金融抑制・財政刺激 ??
 - 均衡財政乗数の考え方
 - 税金などで賄う財政支出は乗数 1 (民間支出に影響与えずに財政支出分だけ需要拡大)
 - ただし、脱炭素もエネルギーインフラの整備も、公的支出が民間投資を誘発することを狙う
 - その場合は乗数効果は高まり景気への刺激も期待できる
- ・ GX 経済移行債 (仮称) の意義
 - 時間差はあるが基本的に均衡財政型の財政支出
 - 巨額の財政支出を支える仕組みの重要性
 - 税金などがないと巨大規模の財政支出は困難
 - 鍵は公的支出がどれだけ民間投資を引き出せるのか
- ・ 民間投資を引き出すために何が必要なのか
 - 民間投資を誘発する公共支出とは：公的支出と民間投資の補完性
 - 規制・支援一体型の投資促進策
- ・ 気候変動という巨大規模の市場の失敗を是正するには市場の力を借りることが必要
 - カーボンプライシングの活用
 - 時間軸と透明性の重要性
 - グリーンファイナンスの役割
 - 情報開示とサステイナブルな経営の推進